

《担当者名》 坂上 哲可(リハ) tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 鎌田 樹寛(リハ) 浅野 葉子(リハ)

【概要】

本講義では、以下 ~ の知識修得が目的となる。具体的には、リハビリテーションの理念や障害の見方、医学的リハビリテーションにおける身体機能障害や精神機能障害を呈する代表的な疾患に関する知識や具体的なリハビリテーション、加齢に伴う心身障害のメカニズムやリハビリテーション、代償機能や環境整備、地域リハビリテーションの概要や介護予防の観点についてである。

【学修目標】

1. リハビリテーションの理念や障害の見方を説明することができる。
2. 中枢神経系障害のリハビリテーションについて説明することができる。
3. 呼吸・循環器系障害のリハビリテーションについて説明することができる。
4. 運動器機能障害のリハビリテーションについて説明することができる。
5. 精神障害のリハビリテーションについて説明することができる。
6. 加齢に伴う心身障害のリハビリテーションについて説明することができる。
7. 代償機能や環境整備について説明することができる。
8. 地域リハビリテーションについて説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	リハビリテーションの流れと役割	リハビリテーションの流れとリハビリテーションサービス体系について学ぶ。	坂上
2	中枢神経系障害に対するリハビリテーション	リハビリテーションの対象疾患として多くを占める脳血管障害のリハビリテーションについて学ぶ。	坂上
3	中枢神経系障害に対するリハビリテーション	脳血管障害のひとつの症状である高次脳機能障害について学ぶ。	坂上
4	中枢神経系障害に対するリハビリテーション	脊髄損傷の病態とリハビリテーションについて学ぶ。	坂上
5	運動器機能障害に対するリハビリテーション	末梢神経損傷、切断のリハビリテーションについて学ぶ。	坂上
6	呼吸・循環器系障害に対するリハビリテーション	呼吸器疾患・循環器疾患のリハビリテーションについて学ぶ。	坂上
7	代償機能や環境整備について	福祉用具の種類と機能について学ぶ。また、福祉用具とリハビリテーションとの関連について把握する。	浅野
8	代償機能や環境整備について	障がい者や高齢者が、安全に住むために必要な住宅改造の要点を学ぶ。「福祉のまちづくり」の思想、取り組みについて把握する。	浅野
9	地域リハビリテーションについて	地域リハビリテーションの概念、歴史、システムを学ぶ。	浅野
10	地域リハビリテーションについて	介護予防の観点から、訪問型事業と通所型事業について学ぶ。	浅野
11	リハビリテーションの理念と障害の見方	リハビリテーションの理念(歴史的背景、対象者領域、関連職種)や障害の見方(ICIDHからICF)について学ぶ。	鎌田
12	精神障害のリハビリテーション	精神科リハビリテーションの概念として、精神障害の原因と分類、精神障害者の処遇、精神障害の治療とリハビリテーション(ICFからの見方)に関することを学ぶ。	鎌田
13	精神障害のリハビリテーション	精神科リハビリテーションの実際について、回復段階に沿ったリハビリテーションや医療機関・福祉機関におけるリハビリテーションの計画やアプローチ方法などを学ぶ。	鎌田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	加齢に伴う心身の障害	生理的老化や廃用症候群などのメカニズムについて学ぶ。	鎌田
15	加齢に伴う心身の障害	代表的な認知症の概要についてや対象者へのリハビリテーション・アプローチについて学ぶ。	鎌田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

講義資料を配布する。

【参考書】

必要があれば、講義の中で紹介する。

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格のための領域「こころとからだのしくみ」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「介護理論及び介護技術」に該当する。

【学修の準備】

予習では、シラバスのテーマについて教科書を読んでおくこと（2時間）。

復習では、講義で配布された資料とともに教科書の内容を加筆・整理し、統合すること（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可（作業療法士）、鎌田樹寛（作業療法士）、浅野葉子（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

作業療法士としての実務経験（身体障害、精神障害、老年期、地域等）を踏まえ、科学的根拠に基づく知識を伝達する。